

観自在

弘長寺
創刊寺
元三刊号
平成一
旦年

弘長寺副住職 森田裕光

明けましておめでとうございませう。二十世紀の幕開け、お檀家皆様方にとって又弘長寺にとつて素晴らしい年になりますように祈ります。

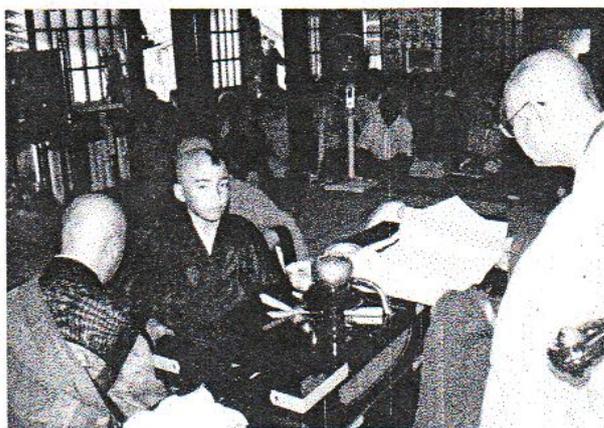
この記念すべき年を期に、寺報を作ることに致しました。

お檀家様とお寺とをもつと親密に結ぶ広報誌として、年に二回程度の発行を予定しております。

寺報は「観自在」と名付けました。

ご存じのように般若心經の冒頭は観自在菩薩行深妙淨妙法蓮華經の別名でございま

す。弘長寺のご本尊様は聖観世音菩薩様、私が修行中実



父師匠の命を救っていただき、私が特に信仰を篤くしている仏様が観音様。

行き当たるのではないかと思っています。観るといふ言葉はただ見るのではなく、深く観るといふ言葉は見るのではありません。観て行ずる・修行をするという意味にもなりま

す。共に仏道を行わず架け橋として、観寺在(寺と在家が共に観る)・飲寺在(寺と在家が共に飲む)の思いも込めました。

進み方丈様は八月二十七日から入院、脳梗塞がで、やつと十二月中旬に退院され、又緊急入院した。歩行困難で家中でも椅子を要し、生活、記憶障害も発生、檀務はほぼ絶望的に

なりました。退院された時には、法事に行か

か、葬儀の最安易の八月入院には、九月・十月

か、葬儀の最安易の八月入院には、九月・十月の

得度式を夏の挙げさせていただきます。方丈様導師にて大裕

期に出来たと感謝しています。本来に良い時

で、私的には交代せざるを得なくなりまし

で、私的には交代せざるを得なくなりまし

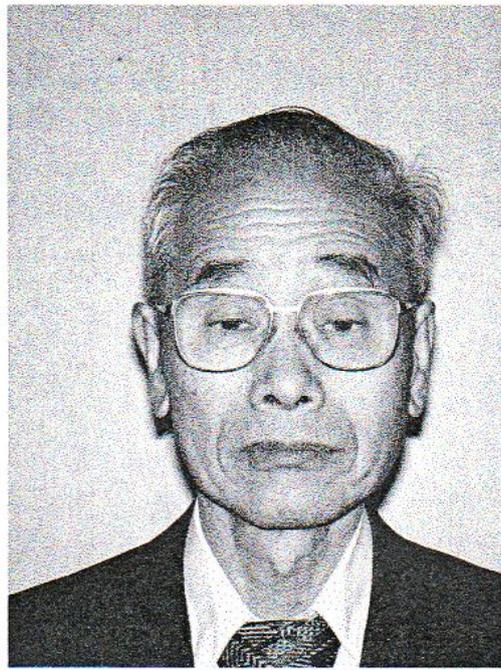
で、私的には交代せざるを得なくなりまし

祝

寺報「観自在」発刊

真の幸せを求めて 仏道を学びましょう

弘長寺護持会会長 土江嘉久



愛いな まと毘方ヤ六迦 仏教の開祖お積
さこか王 したし羅を山世様 紀の元前七
れのら様 はは 紀元前七
る王 優はし 紀元前七
よ子 しじめ 紀元前七
うは くめ てみ 紀元前七
に は てみ 紀元前七
な 敬賢 紀元前七

を迷も っ
去いで の行
りやも とく
厳苦お 行
しい 積誰 した
いみ 迦も は
修を 様思 後
行の 救は 思
道の 王様 継
に 様 以
入 が 派
ら も 立
れ つ な
ま と 派
し 大 王
切 多 様
と くの にな
し の 人 ら
城 の 人 ら

ぞい者五
ろ親う三曹
い類おお洞
での方母の宗
し方で様おの
た々しは父、
もた。伊は祖
、子久我禪
いずれおとらぬ名門の實力者

不幸にして道元様は三歳の時に父
親を、八歳の時に母親を亡くされま
した。

しかし生来人間愛に基づく天才的
英邁な資質才能をそなえられていま
したから学問はもとより何をいな
さったかでも立派で不幸にくじけるこ
となどありませんでした。

この朝の将来は摂政関白と
うめたりとで子の将来は
すめたりとで世話をす人もありまし
うめたりとで世話をす人もありまし
すめたりとで世話をす人もありまし
すめたりとで世話をす人もありまし

お環境はどちも身分は高くて裕
かな下で育ち、将来も約束された福
いしかな真の幸せは富や位だけ
道を学ばれたことであるとして出
そして多くの人々を救われました。

今、二十一世紀の幕開け。
時代は変わり、各人立場は異な
も基本的精神は変わらぬと思いま

今この時期が「観自在」の発刊
資料に感謝するの道と信じて
深く感謝するの道と信じて

仏教豆知識

質問

曹洞宗は何故曹洞宗というのでしようか？

答

曹洞宗は、ソウトウシユウと読みます。ソウトウシユウのソウは、ソウトウシユウのソウと濁りませ

ら、師の法を伝えられた。宗師の法を伝えられた。宗師の法を伝えられた。

山と、師の法を伝えられた。宗師の法を伝えられた。宗師の法を伝えられた。

すで浄い迦。名土と付真。け宗とら。れたも。う。で。あ。り。後。ら。ど。お。ま。せ。



道元禅師様

質問

キリスト教などの神様と仏教の仏様はどう違うのでしょうか？

答

キリスト教では人間が神になることは絶対にできません。

と。こ。ろ。が。人。間。が。神。に。な。る。こ。と。は。絶。対。に。で。き。ま。せ。ん。



キリスト教やイスラム教の根元はユダヤ教です。イスラム教の根元はユダヤ教です。

お釈迦様が、山川草木悉皆成仏。お釈迦様が、山川草木悉皆成仏。

来神・菩薩等。多神教である。来神・菩薩等。多神教である。

お知らせ

位牌堂にある位牌（先代分中塗り）が総位牌（外先）として、全分を致し、困る方はお寺にご連絡下さい。

手箱（通称ハニサン）にバネが壊れて、雨の日、両手が濡れ、重たい。手箱（通称ハニサン）にバネが壊れて、雨の日、両手が濡れ、重たい。



○ 来年七月十五日、大遠忌に。○ 来年七月十五日、大遠忌に。

○ 平成十二年お盆の棚経は。○ 平成十二年お盆の棚経は。